

中学歴史 明治時代④

<p><input type="checkbox"/> (1) 19世紀後半、欧米諸国は軍事力を背景に植民地を広げていった。このような動きを何というか。 → 資源や市場を求めてアジア・アフリカに進出した。 → これら経済力を強めた欧米諸国は(②)と呼ばれた。</p>	<p>(1) ① ②</p>
<p><input type="checkbox"/> (2) 外務大臣の井上馨は、不平等条約の改正を目指し、鹿鳴館で舞踏会を開くなどの()政策を進めた。</p>	<p>(2)</p>
<p><input type="checkbox"/> (3) ()事件をきっかけに、条約改正の世論が高まった。→ 日本人乗客全員が水死したが、イギリス人船長を日本で裁けなかった。</p>	<p>(3)</p>
<p><input type="checkbox"/> (4) 1894年、外務大臣の陸奥宗光は、イギリスとの間で日英通商航海条約が結び、()の撤廃に成功した。→ 日清戦争(1894年)の直前。</p>	<p>(4)</p>
<p><input type="checkbox"/> (5) 1911年、アメリカとの間で関税自主権の完全回復に成功した外務大臣は誰か。→ 日露戦争(1904年)のあと。</p>	<p>(5)</p>
<p><input type="checkbox"/> (6) 朝鮮半島で、東学を信仰する団体が外国勢力の排除などを求めて蜂起したできごとを何というか。→ 日清戦争のきっかけとなった。</p>	<p>(6)</p>
<p><input type="checkbox"/> (7) 日清戦争の講和条約を何というか。→ 山口県で講和会議が開かれた。日本の全権(代表)は伊藤博文と陸奥宗光。</p>	<p>(7)</p>
<p><input type="checkbox"/> (8) 下関条約では、日本は清に()の独立を認めさせた。</p>	<p>(8)</p>
<p><input type="checkbox"/> (9) 下関条約において、清は日本に対し、台湾・澎湖諸島・()を譲ることになった。</p>	<p>(9)</p>
<p><input type="checkbox"/> (10) 下関条約において、清は日本に対して、賠償金として()両を支払うことになった。→ 約3億1000万円。多くは軍備拡張費に使われた。</p>	<p>(10)</p>
<p><input type="checkbox"/> (11) ロシア・フランス・ドイツが、日本に対して、遼東半島を清に返還するよう求めたことを何というか。→ ロシアへの不満が高まる。</p>	<p>(11)</p>
<p><input type="checkbox"/> (12) 台湾の領有権を得た日本は、()を設置して植民地支配を進めた。</p>	<p>(12)</p>
<p><input type="checkbox"/> (13) 1897年、朝鮮は清からの独立を宣言し、国名を()と改めた。</p>	<p>(13)</p>
<p><input type="checkbox"/> (14) 1900年、伊藤博文が結成した政党を何というか。</p>	<p>(14)</p>